

放課後等デイサービス 夢門塾淵野辺 自己評価表

○本評価表は、放課後等デイサービスに従事する従業者の方に、事業所の自己評価していただくものです。
 「はい」又は「いいえ」のどちらかに○を記入するとともに、従業者の視点で、「事業所が工夫していると思う点」や「改善が必要と思われる点」などについて記入してください。

事業所名 夢門塾淵野辺

公表日 2026年 1月

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	1	7	・安全に過ごすための仕組みを検討、実施している ・ボール遊びをする子はスペースを区切っている ・必要最低限の物のみ置いている ・常時レイアウトを変更している	限られたスペースでも安全に思い切り遊べるよう、環境や遊びの工夫に努めてまいります。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8	0	・基準人員はもちろん、余裕のある配置を心がけている	専門支援を取り入れているため、今後も常に余裕のある職員配置を目指し、適切な支援体制の維持に努めてまいります。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	2	・床に物を置かない	備品の配置の分かりやすさの工夫や、車いす・介助が必要なお子さま向けのトイレ・出入口の安全対策、段差等への手すり設置など、安全面に配慮した環境整備を進め、児童が安心して過ごせる施設づくりに努めてまいります。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	4	・掃除を行い清潔を保てるよう取り組みはしている	感染症が流行していない時期も含め、清掃や消毒の徹底に努め、衛生的な環境づくりを進めてまいります。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	2	・相談室をクールダウン部屋として提供している	個室が1室のみのため、状況によっては利用が難しい場合もありますが、今後は利用しやすい環境づくりや運用方法の工夫に努めてまいります。
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7	1	・個々に意識をすることができている様子が見られる	職員間で実施状況にはばつきがあるため、今後は非常勤職員も含め、全職員が積極的に参加できる体制づくりに努めてまいります。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	・保護者様評価をしっかりと職員が見る意識を持つよう声かけをしている	自分たちだけでは難しい環境面も、会社と相談しつつ改善に努めてまいります。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	・朝礼時に前回の振り返りを踏まえて療育内容に関する意見交換や必要な共有を行っている ・終礼時に振り返りの時間を設け、意見把握を行っている	振り返りや共有事項の抜けがないよう、職員間で意識を高めて取り組んでまいります。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	2	・運営指導等は入っているため、指摘があった部分は即改善を行っている	外部評価が実施された際には、助言を活かし、取り組みの充実に努めてまいります。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8	0	・社内研修毎月参加している ・必須でない外部研修にも応募し、自主的に毎月参加している	研修に参加するだけで終わることがあるため、学んだ内容を業務に活かす意識を持ち、実践につなげてまいります。
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8	0	・5領域を意識したプログラムを作成し、公表している	引き続き、児童の発達の5領域を意識したプログラム作りを努めてまいります。
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8	0	・契約時、計画書更新時にしっかりと取り組みができています	業務の流れや実施手順が管理者や児発管、他職員も把握できるように、共有体制の整備に努めてまいります。
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	0	・定期的に情報共有している	勤務間隔が空く職員がいても、抜けが生じないように工夫し、全職員で取り組める体制に努めてまいります。
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8	0		活動に十分に活かせていない職員も見られるため、今後は日々の支援に反映できるように、意識の徹底とフォロー体制の充実に努めてまいります。
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8	0		一部の職員で実施が十分でない場合があるため、今後はより徹底して取り組めるよう努めてまいります。
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8	0	・連携することができている	
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	0	・非常勤職員全員でミーティングを行い計画を幅広く、視野広く立てることができている	非常勤職員のひらめきやアイデアを活かし、より良い支援につなげてまいります。
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	0	・毎月のミーティング内で検討できている	引き続き、ご利用者が楽しみながら取り組めるプログラムの考案に努めてまいります。
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8	0	・取り組みがしっかりとできている	引き続き、お子様の状況に応じた支援に取り組んでまいります。
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	0	・非常勤職員が出発後全員で今日の流れについて共有を行い、職員間で意識の統一を行いサービス提供を開始している	共有された内容を把握していても抜けが生じることがあるため、今後も職員間で声を掛け合い、情報の漏れがないよう努めてまいります。
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8	0	・しっかりと行い、記録も残している	今後は、より具体的に実施できるよう工夫しながら取り組んでまいります。
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	0	・しっかりとできている	引き続き取り組みを継続し、支援の質の向上に努めてまいります。
23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	0	・半年に1度は面談を行い計画書の見直しを保護者様と行っている	引き続き、法令遵守を徹底し、適切な事業運営に努めてまいります	
24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	8	0	・意識をして支援をしていく意識は持っている	取り組みが不十分な項目について、今後は改善に努めてまいります。	

関係機関や保護者との連携	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定を育てるための支援を行っているか。	8	0	・ご利用者様とのやりとりを丁寧にやっている	状況に応じて事業所都合となる場合もありますが、ご利用者様へ分かりやすく説明し、ご理解いただけるよう努めてまいります。	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8	0	・併用先と連絡をとり連携をとっている	すべてのご利用者様に十分に対応できるよう、連携の充実に努めてまいります。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8	0	・関係医療機関と連携を行っている		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7	1	・日々コミュニケーションを意識している ・共有がない時や様子を聞きたい時にはこちらから聞いている。	学校によっては連携が難しい場合もありますが、状況に応じてできる範囲で関係づくりに努めてまいります。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	3	・これまであまり対象例がなかったが、保護者様から要望があれば連絡をとる体制はとっている	これまで対象事例はありませんが、保護者様を通じた情報共有に加え、今後はより円滑な連携のあり方を検討してまいります。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7	1	・資料作成している		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	7	1	・行政が開催している研修に代表職員が参加することはある	研修内容を共有・展開し、実践に活かせるよう努めてまいります。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	5	・子どもセンターには行っている		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4	4	・よく連絡は取っている ・連絡協議会の会員になっている	日程が合わないこともありますが、できる限り参加できるよう調整してまいります。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	8	0	・当たり前のこととして日々取り組みを行っている	回数の見直しと引継ぎを行い、安定した実施に努めてまいります。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	2	・研修資料があれば配布している	必要性は感じているため、情報を集めながら実施に向けて取り組んでまいります。	
	保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	0	・契約時、計画書更新時にしっかりと取り組みができています	今後も、保護者様に寄り添いながら、分かりやすく丁寧な説明を行ってまいります。
		37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	0	・保護者様のニーズをしっかりと把握することができています	発語が難しいお子様についても、様々な視点からニーズを汲み取れるよう努めてまいります。
		38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8	0	・初回、半年後にしっかりと見直しと説明を行い同意を得ている	保護者様の状況に応じて方法を工夫し、分かりやすく情報をお伝えできるよう努めてまいります。
39		家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8	0	・相談をいただいた際にはできるだけ丁寧に迅速に対応を心がけている	より良い助言ができるよう、知識を深めながら取り組んでまいります。	
40		父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6	2	・保護者会の開催は行っている	イベントの実施に向けて検討してまいります。	
41		こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8	0	・ご意見があった際には迅速に対応を心がけている	丁寧かつ迅速に取り組んでまいります。	
42		定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8	0	・夢通信の発行やブログの更新を行い、保護者様へも配布等行っている	引き続き、取り組みを継続していく	
43		個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	0	・しっかりとできています	引き続き、取り組みを徹底していく	
44		障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	0	・特性に合わせて必要なものを揃えるなど迅速に対応を行っている	環境面の制約もありますが、状況をしっかりとお伝えしながら、より良い対応に向けて取り組んでまいります。	
45		事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	7	・個人情報もあるためなかなか難しい		
46		事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	0	・ご契約時に保護者様にはお伝えし、職員間では常に声かけ等を行い認識できるようにしている	非常勤職員の意識向上と、保護者様への周知の徹底に努めてまいります。	
47		業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	1	・半年に1度は避難訓練は行っている		
48		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8	0	・ご契約時のインテークや更新時のアセスメントをとる際に適宜ヒヤリングを行っている	全職員が把握できるよう、周知の徹底に努めてまいります。	
非常時等の対応		49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8	0	・該当者がいない	該当時には適切に対応してまいります。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8	0	・毎月しっかり取り組みを行っている	今後も継続して、丁寧に取り組んでまいります。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	3	・安全確保についてはご契約時や計画書更新時には取り組みは伝えている	現状では十分な周知に至っていないため、今後は保護者様への周知を改めて行い、次回の保護者会にて説明の機会を設けてまいります。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8	0	・終礼時にしっかりと共有をしている	次に来所された際には、しっかり振り返りができるよう努めてまいります。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	0	・全員が少なくとも年に1回は研修に参加している	現在の取り組みを大切にしながら、引き続き意識の維持に努めてまいります。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8	0	・基本的には行わないが、危険が予測される動きがあったとき等は保護者様には事前にお伝えしている ・対応を行った際には記録をしっかりと残し、保護者様への説明報告も徹底している	今後も引き続き、意識して取り組みを徹底してまいります。	
	保護者様評価、自己評価についてまとめ						
<ul style="list-style-type: none"> ・非常勤職員との知識差が生じることを踏まえ、完全ではなくとも補えるよう、情報共有の方法について日々工夫していく。 ・日々の忙しさの中で細かなニーズが抜けしてしまうことも見受けられるため、漏れがないよう職員一人ひとりが意識し、互いに補い合える体制へと改善していく。 							